

6
14
WED

町赤十字奉仕団 ふきん・ぞうきん等を寄贈

神戸町赤十字奉仕団が、町内外の介護・福祉施設など11施設へ手作りのふきんやぞうきん、チラシ紙で作った箱を寄贈しました。

新型コロナウイルスの影響でボランティア活動が制限される中、「今できることを」との思いからこの活動を始め、今年で4年目になります。受け取られた施設の方は「本当に助かっています。今年も大切にに使わせていただきます」と感謝の気持ちを伝えられました。日赤奉仕団の代表である渡邊百々子委員長は「喜んでいただき奉仕団としても励みになります」と笑顔で話していました。



6
16
FRI

正しい歯みがき 歯科指導

下宮小学校において、むし歯から歯を守るために歯をみがくことの大切さを学ぶ「歯科指導」が行われました。

町保健センター歯科衛生士による指導のもと、むし歯や歯肉炎の原因である歯垢を葉で赤く染め出して、みがき残しのある歯を鏡で確認した後、正しい歯のみがき方を学びました。児童は「きれいにみがけていると思っていたけど、みがき残しがあってびっくりした」「むし歯にならないように奥までしっかりみがこうと思います」と話していました。



6
17
SAT

共に支え合い、個人の多様な能力を発揮できる社会を目指して

地域共生社会の実現に向けた地域づくり事業として、NPO法人と一たすの主催で発達障がいに関する研修会が、ふれあいセンターで開催され、子育ての団体に所属する方など42名が参加しました。

講師に岐阜聖徳学園大学教授 安田和夫氏を招き、教員時代の特別支援学級担任経験から学んだ、多様性の尊重や共生社会実現の必要性について話していただきました。簡単なレクリエーションも交え、参加者は「障がいのある方がどんな困りごとを抱えているのか気づくことが大切だと感じました」と話されました。

次回研修は、9月16日（土）に予定されています。



いつもの
今
をお届けします

まちの
わだい

更新中！
ぜひ
ご覧ください



Facebook



Instagram

6
22
THU

(株)大垣ケーブルテレビと議会収録・放映に係る協定を締結

(株)大垣ケーブルテレビと神戸町議会との間で「神戸町議会収録・放映に係る協定」を結ぶ調印式が行われました。

この協定は、議会の情報発信の一つとして、定例会（一般質問）をケーブルテレビで放映し、より多くの方に議会活動への関心を深めていただくことを目的としています。9月定例会から放映される予定です。

調印式には、五十川智宣社長と西脇博文議長、藤井弘之町長が出席し、協定書に調印しました。



6
28
WED

税金の大切さを学ぶ 租税教室

町内4小学校の6年生を対象に、税金の仕組みや必要性を学ぶ「租税教室」が行われ、北小学校では役場税務課職員が講師を務めました。

学校や道路など身近なことをもとに、税金の使い道や流れを知り、税金が自分たちの生活にいろいろと役立っていることを学びました。

児童は「今まで当たり前だと思っていたことに、税金が使われていることがわかった」と感想を話してくれました。



6
29
THU

もうすぐパパママ準備金を贈呈

今年度から開始した町独自事業「もうすぐパパママ準備金」の贈呈式が行われました。

この事業は、妊娠期からの切れ目のない子育て支援を目的に、出産を間近に控えたご夫婦に準備金を支給するものです。

贈呈式に参加いただいた支給第1号の平井貴之さん、恭子さんご夫婦は、準備金の使い道について「おむつや赤ちゃんの身の周りのものを買おうと思います」と話されました。

なお、この準備金は令和5年4月に遡って対象の方々に支給させていただきます。



6
30
FRI

社会を明るくする運動メッセージ伝達式

7月は、社会を明るくする運動の全国強調月間でした。運動の一環として、大垣保護区保護司会の皆さんによる内閣総理大臣・岐阜県知事メッセージ伝達式が行われました。

今年で第73回を迎えた社会を明るくする運動は、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせて安全で安心な明るい社会を築くための全国的な運動です。藤井町長はメッセージの伝達を受け、地域一体となって青少年の健全育成などに努めることを約束しました。



7
4
TUE

神社ガイドブックが完成!

観光ボランティアガイドの会が神社ガイドブックを作成し、その完成セレモニーが町立図書館にて行われました。町内の神社庁に登録された43社と地域に伝わる寺社2つを足した45社がガイドブックに掲載されています。イラストは大垣市在住のイラストレーター杉原メグさんに描いていただき、日常感のある構図と柔らかいタッチでより親しみやすい内容になっています。

観光ボランティアガイドの会の寺田会長は「手に取って見ていただき、神戸町にある神社を知って欲しい」と話されました。

※神社ガイドブックは無料でお渡ししています。お求めの方は、観光ボランティアガイドの会またはまちづくり戦略課までご連絡ください。(連絡先P16参照)



7
9
SUN

地元の歴史を学ぶ

町文化財審議会委員の兒玉剛さんを講師に迎え、「[どうする家康]と神戸町」と題したミニ勉強会が下宮地区公民館主催で行われました。

2回に分けて行われる勉強会の第1回目この日は「下宮地区と関ヶ原合戦」をテーマに、曾根城・大垣城の状況から見た関ヶ原合戦について話を聴きました。曾根城の概要、歴代城主について解説を聞き、地元瀬古地区で起こった東軍・西軍の攻防や大垣城で起こった籠城戦、家康と曾根城主とのやりとりなど関ヶ原合戦の際に下宮地区がどう関わっていたのかを学びました。

次回は8月6日(日)に行われます。詳しくは下宮地区公民館事務局(27-7321)にお問い合わせください。



まちのわだい

7/10
MON

大きなスイカを収穫

下宮区のみなさんが指導者となり、地域の小学生に様々な体験の場を提供する放課後子ども教室「下宮ばら教室」でスイカの収穫体験が行われ、児童32名が参加しました。

スイカは地域の方たちが苗を植え、肥料を与えるなどの世話をして大切に育ててきました。スイカがどのようにできるか説明を聞いた後、実際にスイカを収穫。落とさないように気を付けながら運びました。収穫した10玉をさっそく切り分け試食し、みんなおいしさのあまり何個も食べていました。参加した児童は「重くてびっくりした」「甘くておいしかった」と終始楽しそうでした。



7/11
TUE

夜叉ヶ池伝説ってなんだろう

下宮小学校区の放課後子ども教室「白鳩教室」で、下宮小校区にお住まいの教育活動推進員による「夜叉ヶ池伝説」を題材にした紙芝居の読み聞かせが行われました。

この紙芝居は地元の伝承を知ること、郷土愛を育むことを目的とした「神チャレプロジェクト」の一環で平成30年度に制作され、当時の神戸中学校美術部の生徒に原画を描いていただいたものです。

物語を聞いた児童は「内容はちょっと難しかったけど、おもしろかった」「神戸町に伝わる話を知れて、良かった」と話していました。



7/12
WED

知って使おう お金の話

神戸小学校の2年生～4年生の児童約200名を対象に、公益財団法人大垣青年会議所による「お金の授業」が行われました。

お金の成り立ちについて学んだ後、実際に昔のお金に触りました。また、お金を得るためには役に立つことや喜ばれる仕事をする必要があり、お金をよく考えて使うことの大切さを学びました。最後には自分たちの生活のため、仕事を頑張ってくれている保護者の方に向けた感謝状を書きました。

授業を終えた児童は「お金は大事なもので、買ってもらったものを大切に使っていきたいです」と話していました。

